

令和6年度 日南市立南郷中学校 学校経営報告書

○ 学校経営ビジョン

「協力」「協調」「協働」をキーワードに、【Team 南郷】として学校教育目標の具現化に努め、保護者や地域に信頼され、一人一人が輝ける学校を創造する。

4段階評価 [4 期待どおり 3 ほぼ期待どおり 2 期待を下回る 1 改善を要する]

令和7年3月

重点目標	評価項目	具体的取組・実践(数値)目標	指標別評価	総合評価	結果の考察・分析及び改善策	学校関係者評価及びコメント
1 学力の向上(知) ◆ 自ら学びに向かう生徒を育成する。	① 授業改善の推進 ＜諸調査結果の分析・相互参観授業の充実(「ひなたの学び」を意識)・問いをもつ「めあて」と「まとめ」の整合性＞ ② 基礎的な学力の定着 ＜『南郷スタイル』の徹底・定期テストにおける活用問題の作成・ICTの活用＞ ③ 読解力の育成 ＜活用問題による読解力の育成＞ ④ 特別支援教育の充実 ＜組織的な個別支援体制の整備・研修の充実＞	① 日々の授業において、「4+4のチェックポイント」・「ひなたの学び」を意識した「めあて」と「まとめ」の整合性のある授業を行っていく。さらに、相互参観授業Week(2週間)を年2回実施し、PDCAサイクルに沿った授業改善を行う。 ② ICTの活用を通して学習内容を精選し、『南郷スタイル』の徹底を図る。 ③ 学校と家庭が連携しながら、毎日の家庭学習時間が90分以上となるようにする。 ④ 諸調査結果の分析を行い、活用問題における読解力の育成に努め、定期テストにおいて活用問題を取り入れることで、記述式の問題に対する無回答率の減少や正答率の増加を目指す。 ⑤ 校内教育支援委員会を年4回開催し、特別支援教育に関する研修の充実を図り、組織的な個別支援体制の整備を図る。	3 3 2 3 4	3.0	① 相互参観授業Weekを年2回実施し、自分の授業(動画)も含めた授業参観を行って改善に努め、「4+4のチェックポイント」や「ひなたの学び」を意識した授業力向上につなげることができた。 ② どの授業でもタブレットを活用し、『南郷スタイル』の授業を進めることができた。 ③ 毎日の家庭学習の充実に向けて、今後とも家庭と連携しながら学力の定着を図る必要がある。 ④ 諸調査を分析し、定期テストで活用問題に取り組んだ結果、無回答率の減少にはつながっている。今後全体の正答率の増加を目指していく必要がある。 ⑤ チーム支援会議(校内教育支援委員会)を年7回実施し、特別支援教育に限ることなく、組織的な個別支援体制の充実を努めた。	総合評価 3.2 ○ 先生方の授業での説明を子どもたちは理解し、分かりやすいと聞いています。タブレットを使うことにも慣れ、高校に行っても戸惑うことなく学習につながります。先生方は休憩する間もなく大変ですが、子どもの質問にいつでも答えてくださり、不安なく受験を迎えることができました。周りの保護者に聞いても、テストや受験に取り組む姿勢も、1年から3年だと、成長を感じる声が聞かれました。ありがとうございました。 ○ 先生方の努力が感じられます。 ○ 南郷スタイルの授業ができたことはよかったですと思います。 ○ 学習意欲の向上は永遠の課題ですが、意欲がもてるような指導を、今後お願いします。 ○ 授業の参観をさせてもらった中で、落ち着いた中での取組でした。その中で少し気になったのは、先生の質問に対して、忘れていたようで、周りの友達の答えを見ながら答えていました。多分復習不足か? ● 家庭学習90分以上は、頑張ってください。
2 心の教育の充実(徳) ◆ 『ルール・マナー・モラル』の視点で判断し、豊かな人間性や社会性を身に付けた、自律した生徒を育成する。	① 基本的な生活習慣の確立 ＜自律型校則の浸透・凡事徹底・脚下照顧＞ ② 情報モラル教育の充実 ＜ネットトラブル防止教室の定例実施＞ ③ いじめ・不登校問題への対応 ＜生活アンケート・教育相談・関係機関との連携・校内支援委員会＞ ④ 生徒間、教師と生徒間の人間関係の醸成 ＜SWPBSの推進・いいとこメカネ等の推進＞	① 自律型校則が浸透するよう、日々適宜学校生活について考えさせる指導を行う。 ② 時間を守る、あいさつをする、返事をするなどの凡事徹底を図る。 ③ 靴並べ指導「脚下照顧」を通して、落ち着いた学校生活を送れるようにする。 ④ ネットトラブル防止教室を年2回実施し、情報モラル向上に向けた啓発を図る。また、生徒の実態把握に努め、事例をもとに情報モラルに関する職員研修を行う。 ⑤ 月に1回生活アンケートを実施し、生徒の実態把握に努める。 ⑥ 週に1回主任会を実施し、不登校生徒や気になる生徒の共通理解を図る。 ⑦ 隔月に1回チーム支援会議を開き、スクールワイドPBS等の理解と実践を図る。 ⑧ 2か月に1回中央委員会を開き、各委員会の活動状況を報告し改善を図る。 ⑨ 各行事の運営に生徒が積極的に携わり、生徒主体での活動を推進する。 ⑩ 各種のコミュニケーション活動を通して、生徒同士、教師と生徒とのよりよい関係づくりにつなげる。	2 3 3 2 3 3 3 2 3 3	2.7	① 基本的な生活習慣の確立のため全校集会等を実施して確認の場を設けているが、自律型校則に対する生徒の意識に差があり、今後とも場面に応じた指導が必要である。 ② あいさつ・返事についてはよくなってきている。時間については今後とも指導していく必要がある。 ③ 係活動を通して靴並べの徹底につながっている。 ④ ネットトラブル対策として外部指導者を招いたり、全校集会等で繰り返し指導したりしている。しかし、各種の問題が見られ、継続的に指導していく必要がある。 ⑤ 生活アンケートを月に1回実施し、いじめ等の早期発見・早期解決に努めることができた。 ⑥ 週1回の主任会で、不登校や気になる生徒の状況や対応について共通理解をすることができた。 ⑦ チーム支援会議では、スクールワイドPBSについての理解を深め、生徒への還元を図ることができた。 ⑧ 委員会活動を通して、日々の活動の充実を図っているが、新生徒会役員でのさらなる充実が求められる。 ⑨ 体育大会や文化発表会を中心に、生徒主体の形で学校行事の運営を行うことができた。 ⑩ 対話的な授業や教育相談等を通して、よりよいコミュニケーションづくりにつながるようにしている。	3.2 ○ あいさつは元気にできていると思う。登下校のあちこちですれ違う時など、ほとんどの子ができていて、すごいと思う。個人的に他校に行くことが増え、あいさつの頻度に気付いた。褒めてあげてほしいと思います。 ○ あいさつは元気がよく、笑顔も持ちがよい。 ○ 目に見えないネットトラブル等で、指導が困難な状況もあると思いますが、粘り強い指導をお願いします。 ○ 生活習慣の見直しは長い時間がかかりますよね。 ○ 体育大会も、どの競技に対しても、一生懸命取り組んでいました。 ○ ネットトラブルは、保護者の責任が大きい。学校での指導も大事だが、 ○ 先生方の日々のご指導に感謝いたします。ありがとうございました。 □ SNSのトラブルがなかなかなくなるので、総会の時など、保護者に、トラブルになる要因のシミュレーション映像などを見せてはどうか。結局は保護者が与えているのに、子どもがトラブルになって悩んでいる。親が気を付けることで、不登校やいじめも早期発見できる。
3 健康・安全教育の充実(体) ◆ 心身ともに健康な生徒を育成する。	① 健康教育の推進 ＜健康相談・肥満防止・メディアコントロール＞ ② 安心・安全な健康づくり推進 ＜命の教育・防災教育・感染症対策＞ ③ 体験的な活動の推進 ＜キャリア教育(職場体験等)・福祉体験・部活動・ボランティア活動＞	① 体力テストの分析結果から自らの体力の現状を理解させ、積極的に運動を行う生徒の割合85%を目指す。 ② 歯の大切さの啓発を継続し、う歯治療率50%を目指す。 ③ メディアコントロールへの意識付けを図り、自己の生活リズムを調整できる生徒100%を目指す。 ④ 避難訓練を実施し、避難場所や避難経路の確認を全校生徒で行い、常時天災において避難できる生徒100%を目指す。 ⑤ 手指消毒や手洗い・うがいを徹底し、感染予防に努める生徒100%を目指す。 ⑥ 生徒のキャリア発達につながる体験的な活動を年2回以上実施する。 ⑦ 部活動を通して、自己存在感の向上や共感的人間関係の構築を図る。	3 2 2 4 3 3 3	2.9	① 積極的に運動を行う生徒は9割を超えているが、体力テストの結果が平均以下であるため、体づくり運動を通して手軽な運動について理解させ、実践意欲を高めていく。 ② う歯治療率が46%なので、今後とも家庭を含めた啓発に努めていく。(1年25%、2年30%、3年80%) ③ 全校集会において養護教諭が話をしたが、啓発に至るまでの手立てとしては足りなかった。 ④ 5月に避難経路・地区別避難場所の確認を行い、年2回(地震・津波、火災)避難訓練を実施した。 ⑤ 手指消毒や手洗い・うがいの徹底により、集団感染の流行が見られなかった。(学級閉鎖なし) ⑥ よのなか先生による職業講話や職場体験学習など、各学年においてキャリア発達を促すように取り組んでいる。 ⑦ 部活動生集会を隔月で実施し、部活動の意義や目的を確認しながら、各部活動での充実につなげている。	3.3 ○ 家庭の取組次第で、よくなることを期待したいですね。 ○ 災害は必ず起こる。その対処方法が大事である。 ○ 今何が起こるか分からない状況です。生徒の安全第一で訓練等をお願いします。 ○ 全国的に見ても、宮崎県はむし歯率が高い。中学生になって急にできるものではなく、小さい頃からの習慣や意識も大切であるため、保護者ももっと意欲的に取り組まないとなかなか難しい。学校での指導は、フッ化物洗口など、取り組んでいる。歯と身体の健康がつながっていることを、日南市が、三歳半検診や小学校に上がる前に周知して、意識を高めてもらうのはどうか。 ○ (今回は南郷ではなかったが、)地震や洪水の際の迎えが混乱していた。今後の課題かなと思う。 ● 最近、地震や豪雨というような災害が増えている中で、通学中の命の安全を考えた避難の在り方も必要と感じます。
4 家庭・地域との連携 ◆ 家庭や地域と連携し、地域から誇りにされる開かれた学校を創造する。	① 日南ふるさと学の充実 ② 地域の素材・人材を生かした、体験的で質の高い学びの実現 ③ 地域に貢献できる教育活動の創造「南郷への恩返し」 ④ 学校運営協議会の充実と活用 ⑤ 家庭・地域への積極的な情報発信	① 総合的な学習の時間を中心として、地域コーディネーターと連携しながら、港の町南郷を知る活動や職場体験学習等、地域の素材や人材を生かした地域に根差した活動を学期1回以上実施し、日南ふるさと学の充実を図る。 ② 地域の求めに応えることができるよう、生徒の奉仕の精神を高め、自主的に地域に貢献できるようにする。 ③ 学校運営協議会を年3回実施すると共に、委員の方に学校の様子を機会あるごとに参観していただきながら、学校が抱える課題の解決を目指す。 ④ 学年通信、学級通信、学校Webページ等による情報発信を、週1回以上行う。 ⑤ 参観日出席の呼びかけを行い、参観日の参加率80%以上を目指す。	3 3 4 4 2	3.2	① 総合的な学習の時間を中心に、地域に根差した活動を計画的に実施することができた。今後とも地域コーディネーターと協力しながら、より活動の幅を広げていく。 ② 新生徒会を中心に、地域に貢献できるようボランティア活動の輪を広げていく必要がある。 ③ 各行事や参観日等を参観していただき、年3回の学校運営協議会において、課題解決に向けて協議を深めることができた。 ④ 各担当を中心に、定期的に情報発信を実施できた。 ⑤ 参観日は早めの案内を行い、安心・安全メールでも配信を行ったが、参観率は60%代であった。	3.5 ○ とってもありがたく思います。地域の方の協力があったからのことと思っています。 ○ 今後も地域とのつながりを大切にしてください。 ○ 地域で、自分たちが何かできないかと考えて行動できるよう指導されていることは素晴らしいと思います。将来が楽しみです。 ● 参観率の低迷について保護者からの声 ： 小学校と行事が重なっていた。 ： 推薦入試と同じ週で送迎で休みをもらっていたので、休めなかった。 □ 地区の公民館活動に、もっと参加してもらいたい。 □ 地域に貢献できるボランティア活動ができるようになると思う。